東京工業大学創立130周年

Tokyo Institute of Technology
130th Anniversary

記念式典・記念講演会・記念交流会次第
Program of Events

平成23年10月8日(土)
Saturday, October 8, 2011

体育館・東工大蔵前会館
Tokyo Institute of Technology
(Gymnasium and Tokyo Tech Front)

東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

記念式典

Commemorative Ceremony

（体育館　午前10時）

(10:00 a.m. - Tokyo Institute of Technology Gymnasium)

一、東工大ファンファーレ

Tokyo Institute of Technology 130th Anniversary Commemorative Ceremony Fanfare

作曲　河野土洋

Composer: Kunihiro Kawano

指揮　末永隆一

Conductor: Ryuichi Suenaga

演奏　東京工業大学管弦楽団

東京工業大学混声合唱団コール・クライネス

Performers: Tokyo Institute of Technology Orchestra and Chor Kleines

一、開式

Opening Remarks

一、大学歌斉唱

The Song of Tokyo Institute of Technology

一、学長式辞

Address by the President

一、来賓祝辞

Congratulatory Addresses

一、閉式

Closing Remarks

記念講演会

Commemorative Lecture

（体育館　午前11時）

(11:00 a.m. - Tokyo Institute of Technology Gymnasium)

記念交流会

130th Celebration Luncheonette

（東工大蔵前会館　午後12時30分）

(12:30 p.m. - Tokyo Tech Front)

司会　松井康真

Facilitator: Yasumasa Matsui

テレビ朝日

（昭和61年3月工学部化学工学科卒業）

TV Asahi Corporation

Tokyo Institute of Technology's Department of Chemistry Engineering Alumnus (graduated in March 1986)

東京工業大学創立130周年記念講演会
～これからの日本と世界～

2011年10月8日（土） 11:00～12:20

「これからのエネルギーと大学」 講演者 小長井 誠 大学院理工学研究科 教授

「これからの産業と世界」 講演者 関 誠夫 千代田化工建設株式会社 相談役

～エンジニアリングの視点から～

「これからのエネルギーと大学」

講演者紹介

講演者 小長井 誠 大学院理工学研究科 教授

1972年3月 東京工業大学 工学部電子工学科卒
1977年3月 理工学研究科 電子工学専攻 博士 修了
2004年4月 大学院理工学研究科 電子物理工学専攻 教授（現在に至る）
同 太陽光発電システム研究センター長
同 環境エネルギー機構 エネルギーセンター太陽電池部門長
2004年～ JSPS 産学協力研究委員会 次世代の太陽光発電システム第175委員会委員長
2010年～ 応用物理学会副会長
2008年 応用物理学会フェロー表彰
2009年 文部科学大臣表彰科学技術賞研究部門

講演概要

「これからのエネルギーと大学」について、以下の3点を中心に講演する。まず、第1は環境・エネルギー問題に関する現状認識である。3.11の大地震とその後の原発問題は、日本ばかりでなく世界のエネルギー政策を根本から変ようとしている。第2は、これから新たに導入すべき次世代エネルギーシステムである。大学としてできることは何か。東工大としての新たな戦略を紹介したい。特に再生可能エネルギーを中心としたエネルギー源、ならびにスマートグリッドによる電力網を紹介する。次世代エネルギーシステム開発には、地域社会との連携が重要である。第3は、太陽光発電に関するイノベーションである。東工大では、これまで30年以上に亘り太陽光発電技術開発に取り組んでおり、太陽電池材料・セル・システム、いずれの分野においても世界をリードしてきた。講演の最後に、大規模太陽光発電（LS-PV）実現に向けたS³則を紹介する。すなわち、LS-PVの実現には、Solar cell, Storage, Smart grid の3大要素技術が必要不可欠である。

「これからの産業と世界」～エンジニアリングの視点から～

講演者紹介

講演者 関 誠夫 千代田化工建設株式会社 相談役

1968年3月 東京工業大学工学部生産機械工学課程卒業
1970年3月 同大学院工学部生産機械工学修士課程修了
1970年4月 千代田化工建設株式会社入社
中東でのプロジェクト遂行、米国子会社マネジメント等の海外勤務経験を経て
2001年4月 代表取締役社長就任
2007年4月 取締役会長
2009年4月 同社相談役（現在に至る）
2002年4月 千代田アドバンスト・ソリューションズ株式会社 取締役会長（現在に至る）
2009年11月 プラントエンジニアリング産業振興の功績が認められ、藍綬褒章受章

講演概要

世界は、社会問題や環境問題をはじめとして様々な課題に直面している。これらの問題は特定の国や地域に限らず地球規模のものもあり、いずれも、技術や経験を積んだ国々にその解決のための協力や支援が期待されている。我が国は、モノづくりを中心に環境対応なども含めた著しい成長を遂げてきたが、今や東日本大震災からの復旧・復興と停滞してきた経済の立て直しを同時に行うというチャレンジングな状態にあり、見方を変えれば世界と国内の問題解決へのニーズがマッチした大事な局面を迎えている。
これまで社会インフラや製造業の基幹的設備を供給してきたエンジニアリング産業界は、コトづくりとモノづくりの橋渡しを行い新しい価値を創造していく産業として今日注目されている。酷暑の砂漠における難しい工事をはじめとしたグローバルな経験、育ててきた人材、そして培ってきた技術力を活かして、この産業界がこれらの問題解決や新しい産業を興す価値創造チームの一役を担っていくことを強く願っている。我が国が、世界のサステイナビリティ実現に貢献しながら、新しい価値観の下に経済を発展させることが出来るよう、産業振興のための視点と要件を述べ、併せて東工大への提言も行う。

東京工業大学
Tokyo Institute of Technology